

令和 6 年度事業の評価について

呉市地域公共交通網形成計画の達成状況を評価するために設定した評価指標について、実績値と達成状況は次のとおりです。

【達成状況基準】

- ：達成できた。
- △：達成できていないが、取組実績はある。
- ×：未達成(大幅な減少)もしくは未実施。

指標 番号	評価指標	目標値 (令和6年度)	評価 サイクル	現状値 (平成30年度)	令和6年度			達成状況が△又は×の要因
					実績	増減率	達成状況	
1	公共交通利用者数 (鉄道・路線バス)	現状維持(※1)	毎年度	JR呉線:896万人	JR呉線:779万人	-13.1%	×	13駅中10駅において、人口減少率より高い減少率となっている。特に広駅以東は高い減少率となっており、安登駅は、平成30年度と比較して、22. 2%の減少となっている。
		現状維持(※1)		広電バス:783万人	広電バス:487万人(※2) (生活バスへの移管路線分を含めると、540万人)	-37.8%		呉倉橋島線以外の路線において、利用者数が減少しており、特に吉浦天応線は、平成30年度と比較して42. 5%の減少となっている。
2	公共交通利用者数 (生活交通・航路)	現状維持(※1)	毎年度	生活バス・乗合タクシー:48万人	生活バス・乗合タクシー:88万人 (生活バスの路線数が増加しているため、参考数値)	83.8%	－	生活バスは、すべての路線で人口減少率より高い減少率となっており、特に下蒲刈地区生活バスは、平成30年度と比較して、73.7%の減少となっている。 乗合タクシーは、2路線の合計で平成30年度と比較して、1. 0%の増加となっている。
		令和元年10月及び令和4年10月移管分を除く。:36万人(※3)			-25.0%	×		
		現状維持(※1)		航路:8.7万人	航路3.7万人		-57.7%	
3	公共交通に対する満足度 (市民意識調査)	満足度の向上	5年ごと	-0.267ポイント (平成26年12月実施)	-0.337ポイント (令和6年10月実施)	-26.2%	×	令和6年度に実施された市民意識調査において、行政サービスの重要度は1. 097ポイントであり、平均値の0. 929を上回っている。その一方で、満足度は、-0. 337ポイントとなり、前回の結果を下回っている。
4	公共交通を含む移動確保に対する呉市の負担額 (高齢者・障害者等へのバス運賃助成、スクールバス運行委託、タクシー助成等を含む。)	現状以下	毎年度	1,264,897千円	1,643,517千円	30.0%	×	平成30年度と比較して、陸上交通に対する負担額は、417, 438千円(約62%)の増加、航路交通に対する負担額は、1 8, 209千円(約28%)の増加、その他のスクールバス・いきいきバス等に対する負担額は、57, 027千円(約11%)の減少となっている。
5	地域内交通の一日当たりの平均利用者数 (生活バス・乗合タクシー)	現状維持(※3)	毎年度	8.1人／便	5.7人／便	-29.6%	－	総便数は、平成30年度60, 116便、令和6年度53,933便であり、約10%減少していることに対し、総利用者数は、平成30年度479, 979人、令和6年度355,808人の約26%の減少となっている。
					6.6人／便 (令和元年10月及び令和4年10月移管分を除く。)(※3)	-18.5%	×	
6	地域内人口一人当たりの地域内交通の年間利用回数 (生活バス・乗合タクシー)	現状維持	毎年度	3.34回／人・年	3.29回／人・年	-1.5%	－	評価指標2の結果と同様に、利用者数は、人口減少率より高い減少率となっている。
					3.03回／人・年 (令和元年10月及び令和4年10月移管分を除く。)(※3)	-9.3%	×	
7	新たな移動手段の検討又は既存の移動手段の改善検討の数	1件／年 延べ5件以上	毎年度	－	0件／年(延べ12件)	－	○	
8	バスロケーションシステムに対応した表示器設置数	5か所以上増設 合計11か所以上	毎年度	6か所	0か所(延べ0か所)	－	×	表示器設置数は、呉駅前4件、本通3丁目1件、鍋棧橋1件、広市民センター2件(令和元年度設置)の計8件となっており、計画期間中の設置は、0件となっている。
9	交通結節点・乗継拠点等における利用環境の改善数	1件／年 延べ5件	毎年度	1件／年	0件／年(延べ1件)	－	×	ベンチ、上屋の設置に向けた協議を実施したが、実現に至った件数は、令和3年度に実施した広市民センター前バス停上屋のみで、延べ1件となった。
10	生活バスのバリアフリー率 (ノンステップバス導入率)	70%以上	年度ごと	43%	78%	－	○	
11	モビリティ・マネジメントの実施件数 (学校行事等での乗り方教室)	10件／年 延べ50件以上	施策実施した年度ごと	8件／年	13件／年(延べ46件)	－	△	目標達成に向け、取り組んでだが、開催希望が想定を下回り、目標達成には至らなかった。令和6年度は、学校行事等での乗り方教室が12件、高齢者向けの乗り方教室を1件実施した。
12	関係者との協働・連携による取組の実施件数 (エコ通勤イベント、待合環境整備等)	3件／年 延べ15件以上	毎年度	3件／年	1件／年(延べ3件)	－	×	商業施設への待合施設の設置など関係者との協議を実施したものの、実現に至った件数は0件となった。令和6年度は、広島県・地元住民と連携し、公共ライドシェアの導入に向けた取組を実施した。
【参考】人口減少率(対平成30年度)				－	-10. 8%(△約24,200人)			

(※1)人口減少率の範囲内における利用者の減少は、現状維持とみなします。

(※2)指標1の広電バスの利用実績は、令和元年10月及び令和4年10月に呉市生活バスへ路線移管があったため、11路線から8路線に減少した実績となっています。

(※3)指標2、指標5及び指標6の生活バスの利用実績は、令和元年10月及び令和4年10月に広島電鉄株式会社からの路線移管があったため、上段には全体実績、下段には移管分(9路線)を除いた実績を併記しています。